

平成 30 年 4 月 12 日 (木)
健康福祉局健康部感染症対策室
担当：辻・上野
電話：972-2631 (内線 2631)

本日午後 9 時 00 まで待機しております。

麻しん（はしか）患者の発生について

4 月 11 日、愛知県愛知郡東郷町内の医療機関から愛知県瀬戸保健所に、発熱、発疹、結膜充血等を訴えて受診した患者（名古屋市）について麻しんと臨床診断したとの届出があり、愛知県衛生研究所で遺伝子検査を実施したところ、陽性であることが判明しました。

愛知県からのこの届出に関する情報提供に基づき、本日、名古屋市保健所が患者の行動や接触者等についての調査を行ったところ、名古屋市内では、下表の施設及び交通機関を利用した以外は、行動範囲が自宅に限定されていることがわかりました。

【麻しん患者と接触した可能性のある方が特定できている施設】

感染の可能性のある時間帯	施設名称
4 月 7 日 (土) 19 時頃	医療機関 A (名古屋市内)
4 月 7 日 (土) 20 時頃	医療機関 B (名古屋市内)
4 月 9 日 (月) 10 時頃～13 時頃	医療機関 B (名古屋市内)

上記施設において麻しん患者と接触した可能性のある方については、4 月 28 日 (土) まで名古屋市保健所等が健康観察を実施します。

【麻しん患者が利用し、不特定多数の方と接触した可能性のある交通機関】

感染の可能性のある時間帯	交通機関名称
4 月 7 日 (土) 17 時頃から 18 時 45 分頃	新幹線 のぞみ (品川駅～名古屋駅)

上記の交通機関を利用して患者さんと接触した可能性のある方や 3 月以降に沖縄県に行かれた方などで、麻しんを疑う症状が現れた場合は、必ず事前に医療機関に連絡の上、速やかに受診するよう促していきます。

1 患者の概要

10 歳代 男性 名古屋市在住

2 患者確認に至った経緯

3 月 28 日～4 月 2 日 (月) 沖縄旅行
4 月 4 日～4 月 7 日 (土) 埼玉県内の学校に通学
4 月 6 日 (金) 発症
4 月 7 日 (土) 埼玉県から名古屋市へ新幹線で帰省 (その後は自家用車を使用)
同日 市内の医療機関 (2 施設) を受診
4 月 9 日 (月) 市内の医療機関を受診

4月10日(火)

4月11日(水)

同日

愛知県愛知郡東郷町内の医療機関を受診

当該医療機関から麻疹患者(臨床診断例)として届出

愛知県衛生研究所による遺伝子検査の結果、麻疹と確定

3 麻疹(はしか)について

別添のとおり

麻しん（はしか）について

1 症状等

感染すると約 10 日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。2～3 日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者 1,000 人に 1 人の割合で脳炎が発症すると言われています。

2 感染経路

麻しんウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強いと言われており、感染する時期は、発症の 1 日前から解熱後 3 日後までとされています。

免疫を持っていない人が感染するとほぼ 100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。

また、現在、1 歳（第 1 期）と小学校入学前年度（第 2 期）に、MR ワクチンの定期予防接種を実施しており、予防接種をしていれば感染するリスクは少なくなります。なお、本市では第 1 期では 99.3%、第 2 期では 93.3%の方が MR ワクチンを接種しています（平成 28 年度実績）。

3 潜伏期間

約 10 日～12 日間

4 治療

特異的な根治療法はなく、対症療法を行います。

5 麻しんの報告数

（1）過去 5 年の報告数（診断日で集計）

年次	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
名古屋市	1	20	0	1	1
愛知県(本市含む)	25	46	0	5	1
全国	229	462	35	165	189(速報値)

（2）沖縄県での発生状況

平成 30 年 3 月 20 日、沖縄県内で旅行客が麻しんと診断され、この旅行客と接触歴のあった者や同じ施設を利用した者を中心に、断続的に沖縄県内で麻しん患者の発生が続いております。4 月 10 日時点では 38 名の患者が沖縄県から報告されております。

6 留意事項

麻しんを疑う症状があった場合は、必ず受診前に医療機関に連絡し、麻しんを疑う旨を伝えた後、医療機関の指示に従い早急に受診してください。また、受診の際は、周囲に感染を拡げないように公共交通機関の利用は避けてください。